

## 5月8日からコロナは5類へ移行。職場や日常生活はどう変わるのか？

2021年(令和3年)1月、都内で新型コロナウイルス感染者が初めて確認されてから約3年5か月。コロナ禍が続き、国や地方自治体、市民など全ての人が感染対策に追われ、不安や心配を抱える日々が続いた。だが、感染者や死者数の減少もあり、ゴールデンウィーク明けの5月8日(月)から、コロナは感染法上の分類では「2類」から「5類」に移行する。これに伴い、季節性インフルエンザと同じ扱いになり、コロナの扱いが大きく変更法的根拠がなくなるために自治体や保健所の入院調整なども変わってくる。

この3年余、コロナ対策に取り組んで来た市の福祉健康部健康推進課の木村良太課長に聞いた。「感染者の隔離期間は、現在は発症翌日から7日間ですが、これが5月8日から5日間に短縮されます。学校の出席停止も7日間から5日間かつ症状軽快後1日と変わりますね。濃厚接触者という分類もなくなり、外出禁止や行動制限は義務ではなく自粛要請に。自宅療養者への支援もなくなります。発熱したらかかりつけの医師にまず相談してください。医療費は公費負担ではなく自己負担になり、外来での初診料は3割負担で約4170円程度になります。これはインフルエンザ診療の時と同じ額ですね」と語る。

マスク着用はどうなるのか？木村課長は「1人1人の判断となります。だが、職場では着ける人が多いと思いますね。マスクは感染防止対策の有効な手段ですから」と続ける。都内の大学付属病院の医師は「65歳以上で基礎疾患のある高齢者は、混雑する電車や医療機関・高齢者施設内ではマスクは絶対に必要です」と強調する。面会は「原則禁止」が多い。コロナが5類となってもコロナが収束したわけではない。人込み多いGW後に第9波を懸念する医療関係者もいる。やはり、手指の消毒と帰宅時のうがい、マスク着用、3密の回避、室内の換気に気を付けることが日常生活の基本となる。と同時に5類に移行した以上は、自己責任がさらに問われることになってくる。(大泉 清)

## 第9回 春の関野準一郎・関野洋作 木版画展が開催

2019年(令和元年)以来休止していた木版画展が、京王線布田駅に近いアトリエ・関野で4月8日(土)～16日(日)まで開催された。親子2代の木版画展である。関野準一郎氏(1988年没)は昭和代表する版画家で、次男の関野洋作氏も独自の画風で有名である。洋作氏は79歳と高齢だが、ほぼ毎日朝9時から夕方5時まで制作しているとのことだ。チューリップが咲く自宅のアトリエには、身近な動物を愛した準一郎氏の「木目猫」や「シャム猫」など猫の作品、洋作氏の「ひまわり」や「アイリス」など様々な花の作品が中心に展示されていた。展示版木のコーナーもあり、1回ごとに色を変えて刷る独特の「19回刷り」の実物展示もあった。

## 【FC 東京応援記】

アルベル監督は自分の目指すサッカーに絶対的な自信を持つ。GKやCBの低い位置からボールをつなぎ、保持してゲームを支配する。選手には「自分のスタイルに適した選手に成長する事を期待している」と話す。そのための時間をくれとファン・サポーターには言う。「優勝する」とは絶対に言わない。だが実はリアリストでもある。ケガ人が続出したこともあり、森重や長友とも話し、ここ数試合は理想の4-3-3から、今の戦力で最も安定的にゲームができる4-2-3-1の布陣に変えた。そして勝ちながら修正する。彼の眼には確かな成功への道筋が見えている。(日比生)

ちょびット

調布社協 インフォメーション

No.21



調布市福祉人材育成センターでは、福祉の入門的な資格研修を実施しています。5月は「重度訪問介護従業者養成研修」、6月は「知的障がい者ガイドヘルパー養成研修」、9月は「介護職員初任者研修」、10月は「視覚障がい者ガイドヘルパー養成研修」を予定しています。障害者、高齢者の支援について学びたい方はぜひお申込みください。

研修の詳細については、調布市福祉人材育成センターのHPをご覧ください。



# 2023年5月 番組表



＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！



## 調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組	月	火	水	木	金	土	日
	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
	1日	15日	16日	31日			

① 調布市音楽連盟40周年記念コンサート(グリーンホール大ホール) 3月21日春分の日。「調布市音楽連盟40周年記念コンサート」が開催され、ホールいっぱいに響き渡る歌声に、大きな拍手が送られていました。

② CIFA フレンドシップデー2023:(参加国は日本を含めて13カ国) 2018年以来5年ぶりにたづくりむらさきホールで開催。ステージでは各国のイベントが行われ、ホールではみんなでダンスをしたり、遊んだり、楽しい時を過ごしました。

③リトルギャラリー :江川早希さんの絵画展 —美しいと思う景色を描く— 身の回りのふとした景色の空気や 美しい色の移り変わりを描いている江川早希さんの作品が、油絵を中心に展示されています。身近な風景に息づく色彩の豊かさ・美しさをお楽しみください。

①劇団 芸優座 第十回 春の公演  
樋口一葉の生涯を綴った「後のこと知りたや〜葉物語〜」と、代表作「大つごもり」の舞台をご紹介します。また、舞台裏見学や質問コーナーなどで盛り上がった交流会の様態をご覧くださいませ。

②サークル紹介「レディース・フラ」  
高齢になっても健康のため、一緒にフラダンスを楽しんでいる女性たちをご紹介します。




ラジオ	「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)		
	調布 FM:83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！		
	月	放送日	内容
5月	1日(再放送)	宮本苑生の詩の世界	八木幹夫詩集『野菜畑のソクラテス』他から抜粋してお届けします。 朗読: 峯田里香子
	8日(再放送)	八木幹夫さんの詩の朗読	
	15日(再放送)		
	22日(放送)	ゲスト: 高橋裕二さん	元調布青年会議所の理事長。こども屋台選手権、慰霊祭、青色防犯パトロール(青パト)等市内の数々のイベントの実行委員長にお話を伺います。インタビューア: 柴田紀恵子
	29日(再放送)	元調布青年会議所理事長	

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごされている方、この機会に地域の情報を見ませんか！インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉調布市民放送局で検索


<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)  
 (すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)  
 (すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)


【公式HP】
【アーカイブサイト】
【フェイスブック支局】



**“たまたま”取った電話が始まり 特殊詐欺犯からの詐欺の電話かも！**

特殊詐欺被害は“たまたま”取った電話から始まることが多い。電話が鳴ったら用心が肝心。犯人は証拠が残る「録音」を嫌う。被害に遭わないためにも調布警察署(電話042-488-0110)では「在宅中も留守番電話に設定したり、通話が自動録音できる自動通話録音機を活用しましょう」と呼び掛けている。

**東京消防庁と調布市合同の 総合水防訓練を実施**



梅雨が近くなり河川の災害が多くなる季節となった。5月27日(土)午前9時30分から多摩川左岸河川敷で東京消防庁第八消防方面・調布市合同総合水防訓練が行われる。調布消防署(電話042-486-0119)では見学の皆さんも土嚢作りや水圧ドアの開閉体験ができると呼び掛けている。

＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429  
 郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2 階 市民活動支援センター1気付  
 [編集・発行] NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14